

育成センターだより

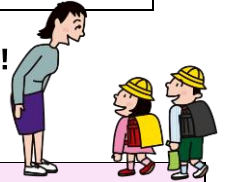
編集・発行 千曲市少年育成センター
事務局：千曲市教育委員会 生涯学習課内
お問い合わせ：TEL 273-1111 内線 4113

教育相談・生活相談のご案内 ※いずれも秘密は守られます

【児童・生徒の教育相談】	【青少年の生活相談】
＊ 相談日・時間 土・日曜日及び祝日を除く毎日 AM9:00～PM5:00 ＊ 場 所 市総合教育センター内（埴生中学校敷地） 教育相談センター 電話相談・面接相談 273-5105（直通）	＊ 相談日・時間 月・水・金曜日 AM9:00～PM4:00 （要・予約） ＊ 場 所 千曲市役所 4階 少年育成センター（生涯学習課内） 電話 273-1111（内線 4113） ＊ E-mail：youth@city.chikuma.lg.jp

第3日曜日は家族ふれあう「家庭の日」 増やそう会話、つくろう思い出！

— おはようと あいさつ交わし 増す笑顔 —



子どもたちの安全のために

五加地区少年補導委員

少年補導委員は、各小学校校区から任期二年で選出され、二か月ごとの会議と、月二回のパトロールを行います。青色回転灯の付いた通称「青パト」と呼ばれる千曲市の車で市内の公園や子どもたちの集まる場所を見回ります。この車は他の市では使われていない所もありますが、用意されているのでありがたく活用させていただいております。コロナの感染拡大防止で使えなかった時期もありましたが、現在は使えています。市内のどこかをパトロールしてもいいとのことですが、まずは地元を優先して帰りに他の地区を回って、道路や水路を見ながら帰ります。

また、店舗にもお邪魔してお話を聞き、ひまわりの健全育成ステッカーを貼ってもらっています。他に、補導に関する施設を見学する研修も年一回あります。普段見ることがない所を見学でき、勉強になります。

補導は、本来は非行、不良の行為を発見して注意・指導することですが、そのような場面には遭遇したことはありません。しかし、会議では警察から補導件数の報告があります。また、公園のトイレに潜んでいる人がいるという話もありました。

私たちも公園ではトイレを真っ先に見るようにしていますが、きれいに使われていて、管理している地域の方に感謝の思いです。また、公園は、小さなお子さんがお家の人と来て遊んでいるので、視線を低くして危険な所はないか、変なものは落ちていないか、遊具は正常かを見ています。

小学生や小さな子どもが遊ぶ姿は、見ているとこちらが楽しくなります。子どもたちの安全のために、微力ですが、これからもパトロールをしていきます。

令和4年度「少年の主張長野県大会」優良賞受賞、戸倉上山田中学校 野口知華さんの「自分に自信をもとう！」を掲載しています。ぜひお読みください。



冬期の補導巡回活動から

環境チェック活動でお店を巡回

11月には、環境チェック活動として、コンビニエンスストアを中心に、成人向け図書の陳列方法や、青少年の店舗利用状況について、巡回しました。陳列に問題がある場合には、改善の要望を行いました。青少年の店舗利用状況についても店員さんにお聞きしました。おおむね問題はないそうです。また、コンビニでは、酒類の販売についても、年齢確認を注意して行っているとのことでした。



11月11日（金）五加小学校区

コンビニでは特に問題もなく、マニュアルに沿った対応をしているようでした。24時間営業のドラッグストアでは、22～23時ころに高校生らしき人たちがお酒を買いに来ることがあるとのことでした。身分証の提示ができない場合はしっかりお断りしているとのこと、夜間スタッフの落ち着いた対応ができていると感じました。

三年ぶり にぎやかな 大頭祭

八幡の武水別神社の大頭祭はコロナ禍で縮小しながら続けて行われていますが、この12月は少し、にぎやかさが戻ってきました。12日にはごくまきも行われ、老若男女が福を求めて手を伸ばしました。



12月12日（月）三番頭 八幡小学校区

宝船が通るため、通行止めになった道路と、境内を巡回しました。沿道の家では豆がらを炊いてくださっていました。

小学校が半日だったため、大勢の子どもたちが大頭祭を楽しんでいました。お小遣いは平均1000円程度持ってきていたようです。みんな、にこにこしていて、こちらもうれしくなりました。来年は、お祭りに子どもたちが参加できることを願います。

少年の主張長野県大会 入選作品紹介

青少年の自主性や社会性を育み、相互理解の促進を図る目的で、中学生が感じたことを発表する「少年の主張長野県大会」が9月に開催され、戸倉上山田中学校の野口さんの主張が入選しました。ここに紹介します。

自分に自信をもとう！

戸倉上山田中学校2年 野口 知華

みなさんは「自分に自信がありますか？」と問われたら、どう答えますか？なぜ、こんなことを言うかということ、学校で生活している中で、自分に自信をもっていない人が多いと時々感じるからです。そう感じた三つの経験を紹介します。

一つ目は「一人で何かの行動をしたくない人が多い」ということです。ここには自分に自信が持てないことが関係していると考えます。そこで、一人で行動したくない理由を、何人かの人に聞いてみました。すると、次のような意見が返ってきました。「友人がいないと思われたくない・・・。」や「隣に誰かいないと何となく落ち着かない・・・。」などです。この意見から、自分が周りからどう見られているかを気にしすぎて、自分への自信が薄れていると考えました。

二つ目は「話しているとき、必要以上に自分のことを下げてしまう人がいる」ということです。「自分なんて〇〇だから・・・。」が口癖になっている人もいます。しかし、私がこれまで出会ってきた人中で、この自分への評価に当てはまる人は一人もいませんでした。みんな自分が考えているより、良いところや魅力的なところがたくさんありました。自分の良さや魅力に気がついていない、知らないのではないかと考えました。

三つ目は「自分を守るために自信を持たない」ということです。これはどんなことかということ、みなさんも経験があると思いますが、例えば授業中に発言を求められ、誰も挙手する人がいないときです。そのときに間違えたり笑われたりすることを恐れ、挙手をしなかったり、黙っていたりすることです。誰も挙手しないから自分もしないで、誰も何も言わないから自分も黙っている。このようなことは、授業中だけでなく、クラスや部活動等、多くの場面で経験してきました。しかし、このような状態では、発言したり意見を言ったりした人の考え方に偏ってしまい、より良いものにたどり着け

なくなってしまうかもしれません。多くの人の、様々な考え方が出た方がより良い方法が見つかったり、みんなの成長につながったりすると思います。

しかし、そうはいてもなかなか自分に自信が持てない人も多いと思います。そこで、どうしたらよいか考えてみました。私は、次のことを提案します。それは、少し角度を変えて自分自身を見つめ直してことです。あることがうまくいかないとき、それだけを気にしたり、他人と比べることばかりしては自信をなくしていくのは当然です。その負の連鎖から脱するために、違う角度から自分を見つめなおして「だけど、自分にはこれがある！」と感じられるような、新たな自分の良さを発見してみませんか？



また、次のような方法も提案します。自分の好きなこと、興味のあることをさらに伸ばす努力をする

ことです。好きなことや興味のあることならば、自分から進んで取り組み、さらに知識や技能、能力を伸ばすことにつながられるかもしれません。それが自分の成長につながり、最後は自信へとつながっていくと思います。

みなさん、今回の私の考えを聞いて、自分自身に自信が持てそうだと思っていただけたいでしょうか？

みんなに何か他の人より輝いているところ、他の人より興味を持っているものがあると考えています。それに気づかず、何でも周りの人と比べたり、他の人を羨ましがったりするのではなく、いろいろな角度から自分を見つめ直したり、自分の良さをさらに伸ばしたりして、みんなが自分に自信を持ち、楽しい学校生活、人生を送ってほしいと思います。

～わたしのゆめ～



子どもたちのゆめ、そこには自分のゆめで多くの人を幸せにしたい、そんな思いが綴られています。そんなやさしい気持ちを持った千曲市の子どもたちのゆめをお読みください。



「薬屋さん」

上山田小学校 3年 宮崎 愛梨

わたしのゆめは、薬屋さんではたらくことです。理由は、2つあります。1つ目は、具合のわるい人には薬を飲んでもらって、元気になってえがおでいてほしいからです。2つ目は、わたしがかぜをひいてねつを出したときに、薬を飲むと熱が下がって頭がいたいのがなおって、すっきりしたからです。

また、けがをしたときに、いろいろな手当ての道具がないと、わたしもこまるし、みんなもこまります。だからわたしは、えがおですぐ薬とかをパッと出せる薬屋さんになりたいです。

「薬剤師になりたい」

埴生小学校 6年 諏訪 結香

私の夢は、薬剤師になることです。理由は2つあります。

1つ目は、母が薬剤師だからです。いつも9時ごろに家を出て、3時くらいに帰ってきます。薬剤師は薬を作ったり、かん者の人に薬を渡したりするそうです。だから私も、薬が必要な人や困っている人を助けたいと思いました。大変なこともあると思いますが、かん者さんを笑顔にできればいいと思います。

2つ目は、感せん症が流行したときに困るからです。今、新型コロナウイルスやインフルエンザにかかる人が多くて、それにあわせて薬もたくさん必要になっています。薬を必要としている人が元気になるために、薬剤師になりたいです。

「世界が変わっても」

屋代中学校 2年 牛越 成美

私の夢は、看護師になることです。技術の発展に伴い、今、世界は大きく変化しています。AI（人工知能）は、家電製品などにも使われ、身近なものになってきていますし、自動車の自動運転も実用化が迫っています。AIの進歩により、私たちの暮らしが便利になるなかで、一部の職業はAIに代替されるという見方も出ています。

しかし、看護師は、最新の技術でもAI化が難しいと言われていています。なぜなら、その状況に応じた判断が必要であり、また、患者さんの気持ちを考えた対応が求められるからです。世界が変わっても、いつも相手の気持ちに寄り添い、人々に勇気や希望を伝えられる、そんな人間らしい看護師になりたいと思います。

「家を創る」

屋代中学校 2年 塚田 大翔

僕は、家に帰ると、ほっと息がでます。その日にあった嬉しいできごと辛いできごと、家に帰ると忘れてしまいます。家には、不思議な力があると思います。

僕は、人の心のよりどころである大切な家を設計し、多くの人に幸せを感じてもらえるような仕事をしたいと思っています。そのためには、今からしっかり勉強していろいろな知識を身につけ、努力を積み重ねていかなければなりません。相手の気持ちを理解し、人の心に寄り添える力や相手の意見を尊重する力、自分の考えを発信する力などを日々の生活から学び、身につけていきたいです。そして、多くの人が笑顔になれる家をたくさん設計したいと思います。